

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)  
 A:十分達成できている  
 B:おおむね達成できている  
 C:やや不十分である  
 D:不十分である

学校名	有田町立有田小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・校長のリーダーシップのもと「有田大好き 進んで学ぶ さわやか有田っ子」を合言葉に、全職員が一丸となって学校目標の実現のため全力で取り組んだ。保護者、PTA、地域との連携も良好であった。 ・「子どもを知る会」を毎週水曜日に実施し、「気になる子」についての情報共有・共通理解を全職員で回り、関わり方等について協議し実行していった。SC,SSW,医療機関との連携も速やかに行うことができた。全職員で共通理解し指導していくことができたことが、問題行動や不登校や重大ないじめの事案が起きなかった要因と思われる。
------------------	--

2 学校教育目標	ふるさとを大切に、たくましい有田っ子の育成
----------	-----------------------

3 本年度の重点目標	①学力向上をめざし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。 ②特別支援教育を充実させ、気になる子への支援を全職員で組織的・継続的に行う。 ③地域と連携した教育を推進し、児童が郷土を愛し、誇りに思う心情を育てる。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・校内研修等により取組の推進を図る。 ・全職員が、指導案検討、模擬授業に関わり、共通理解のもと授業研究会を行う。						
	○小中連携し、児童が主体的に学ぶ授業改善	○全学級で授業研究会を実施する。 ○授業で課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと回答する児童を93%以上にする。	・授業づくりのステップ1. 2. 3を意識し、目的を持った書く活動や話し合う活動を取り入れ、授業改善を図る。 ・中学校区内の、合同研修会や相互の授業参観を行う。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友を大事にして、仲良く過ごすことができた」と考える児童の割合を90%以上にする。	・ふれあい道徳などの公開授業やふれあい活動(縦割り班活動)の中で、思いやりの心や感謝の気持ちを育てる。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「人権・同和教育、道徳教育を充実し、いじめ防止に努めた」教職員90%以上	・Q-Uテストや毎週の「元気カード」の結果をもとに、児童理解に努める。 ・個人面談を行い、一人一人の児童と担任等との対話を積極的に行う。						
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童の交通事故をゼロにする。	・1学期に交通教室、学期始めに集団登校、毎月1回集団下校を行う。 ・登校班確認、通学路の点検、防犯ふれあい隊と連携し、見守り活動を推進する。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議時間の縮減に努める。 ・出退勤システムで、職員の時間外勤務を常時把握する。 ・18時30分までの退勤を促す。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標(数値目標)							
○特別支援教育の推進	○全職員による共通理解と組織的支援	○「支援を要する児童への対応の仕方の理解が深まった」と考える教職員90%以上	・特別支援教育に関わる研修を年5回以上行い、専門的知識を深める。 ・毎週「子どもを知る会」を実施し、支援についての共通理解を図る。						
○地域と連携した教育活動の推進	◎地域の人材や、教育資源を活用した体験活動の充実	○「学校は保護者・地域と連携しながら教育を行っている」と考える保護者90%以上	・世界に誇れる有田焼をはじめ、地域の歴史・文化等を、地域の人的・物的教育資源を活用した学習を年間を通して計画的に行う。						
○落ち着いた生活態度の育成	○全児童が落ち着いて生活できる静かな環境づくり	○あいさつ、静かな廊下歩行、無言掃除などができた、という児童が80%以上にする。	・「有田っ子プライド」(月目標)を全職員で共通理解を図り、指導を徹底する。 ・職員があいさつ運動を実施する。						

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------